

接続語 レベル9

日 前
月 名

1 次の文章の空欄(1)～(5)にあてはまる言葉をそれぞれ次のア～オから選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

人類のさまざまな活動が地球規模で行われる時代になりました。(1) グローバル時代の到来ということではグローバルとはどういう意味でしょうか。「global aー(グローバル)」はもともと「globe(グローブ)」という「球体」「地球」を意味する名詞から派生してできた形容詞で「国境を越えて地球全体にかかわるさま」や「世界的規模の」という意味で用いられます。ところで、最近「グローバルな視点で考えることが重要だ」などとよく言われますが、これは人間にとってなかなか難しいことです。

(2)、私たちは人間は地に足をつけて生きる動物だからです。鳥のように空から地上を眺めることはできませんし、(3) 神のように全知全能の存在でもありません。とても地球全体について考えることができるとは思えません。(4) 悲観することはありません。人間には「想像力」という能力があります。「想像力」を用いることによって人間は見たこともない世界や、行ったこともない世界のことを思い描くことができるのです。その「想像力」を育てるのに役立つのが「知識」です。いわば「知識」は「想像力の燃料のようなものです。大いに勉強して「知識」を身につけて想像力豊かな人間になりましょう。(5) グローバル時代も恐れることはありません。

ア 手短に言えば イ ましてや ウ なぜかと言えば エ そうなれば オ でも

2 次の文章の空欄(6)～(10)にあてはまる言葉をそれぞれ次の力～「から選び、記号で書き入れましょう。(同じ記号は一度しか使えません)

『生物から見た世界』という本があります。これはユクスキュル(「一八六四～一九四四」ドイツの理論生物学者)という人によって書かれた本です。この本が(6)面白くて、(7)同じ街路の風景でも人間の目で見ると、ハエから見るとではこんなにも違っ



て見えるのだということが画像入りで紹介しょうかいされています。どうしてそんなに風景が違って見えるのかといえは、そもそも人間とハエとでは目の構造こうぞう自体が違うからです。皆さんも知っているようにハエの目は複眼ふくがんになっています。

(8)

僕たち人間のような目で見る

のと複眼で見るのでは見える風景が違っていて当然です。この『生物から見た世界』という本ではハエだけでなく、ダニやミツバチ、貝など様々な生物が自分をとりまく世界をどのようにとらえているかが図や写真などを使って説明されています。

(9)

こ

の本は当時の思想・哲学の世界にも大きな影響を与えたと言われています。簡単にいえば「たった一つの正しい世界」という考えを無効むこうにしてしまったのです。たとえば、そこにひとつの森があったとして、人間は人間なりのとらえ方で、ハエはハエ、ダニはダニなりのとらえ方で森を見ます。どの森のとらえ方が正しいとは言いません。(10) どの生物の森のとらえ方も正しいということになります。「真実はたった一つである」と考えるのと「真実は複数ある」と考えるのでは、物を考えるときの前提から大きく違ってしまうですね。

カ たとえば

キ 言ってみれば

ク だから

ケ なかなか

コ ところで